

2011年3月期 第2四半期決算説明会 2010年4月～2010年9月



日 時：2010年11月9日（火）16：00～17：00
会 場：フクダ電子株式会社 本郷新館



<http://www.fukuda.co.jp>

1. 決算概要（連結）	2
2. 2010年度下期の主な取り組み	7
3. 2010年度業績予想	18

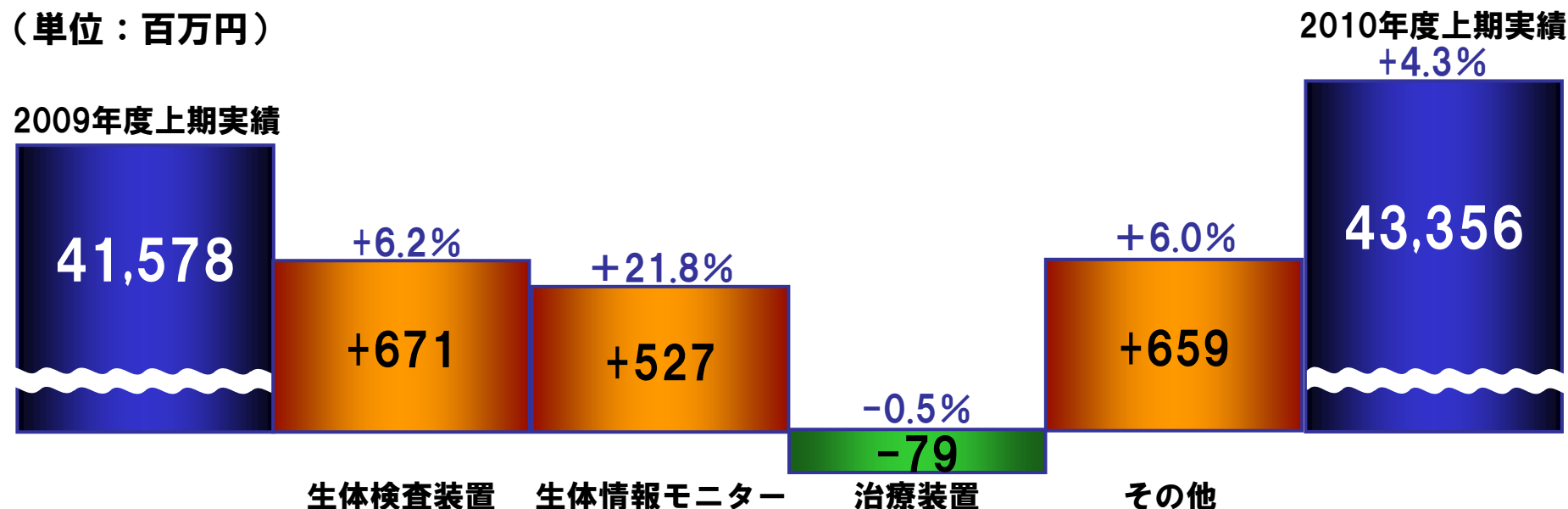


単位：百万円	2009.09	2010.09	増減額	増減率
売上高	41,578	43,356	1,778	4.3%
売上総利益	19,272	20,427	1,154	6.0%
販売費及び一般管理費	16,469	16,325	-144	-0.9%
営業利益	2,803	4,101	1,298	46.3%
経常利益	2,901	4,132	1,230	42.4%
四半期純利益	1,114	2,445	1,331	119.5%
為替レート：ドル	96円	88円		
ユーロ	132円	113円		

売上高は心電計、血球カウンタ、生体情報モニタ、在宅レンタル事業が伸張
 売上総利益は自社を中心とした新製品の貢献と製品のプロダクトミックス
 販売費及び一般管理費は一部経費において計上時期が下期となった

事業別売上高増減要因

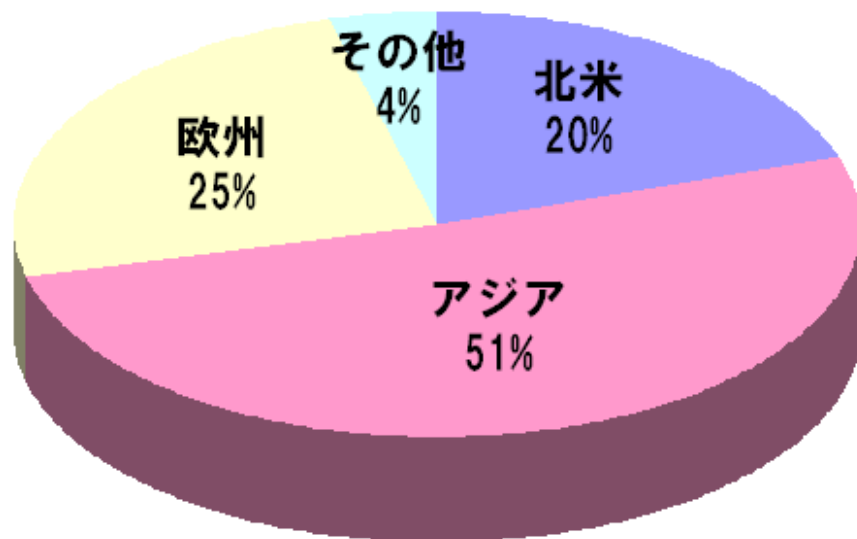
(単位：百万円)



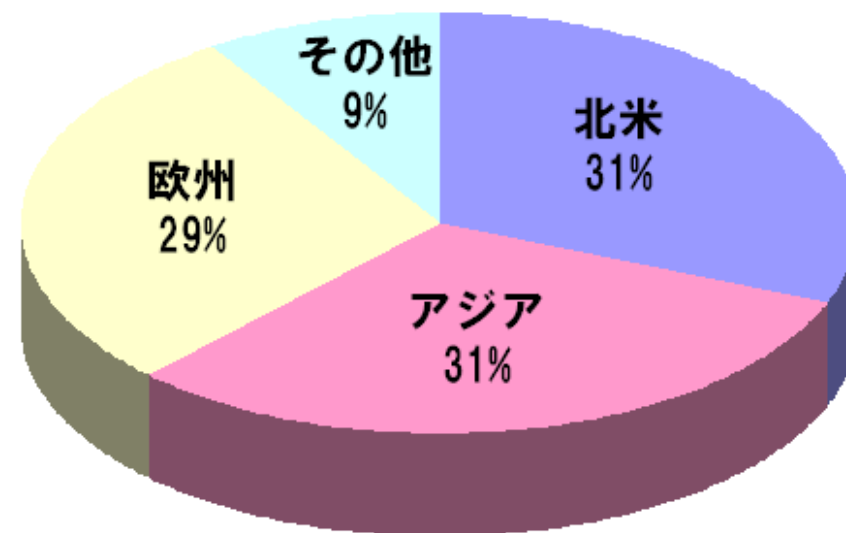
単位：百万円	2009年度上期実績	2010年度上期実績※
生体検査装置	10,783	11,454
生体情報モニター	2,412	2,939
治療装置	17,479	17,400
消耗品等(その他)	10,903	11,562
売上高合計	41,578	43,356

※今年度より『消耗品等(その他)』部門に含めて集計しておりました器械装置に使用する付属品に関して部門別による集計が可能となりましたが、2010年度上期実績につきましては、従来の集計方法に補正し、セグメント別比較を行っております。

2009年度上期
1,550百万円



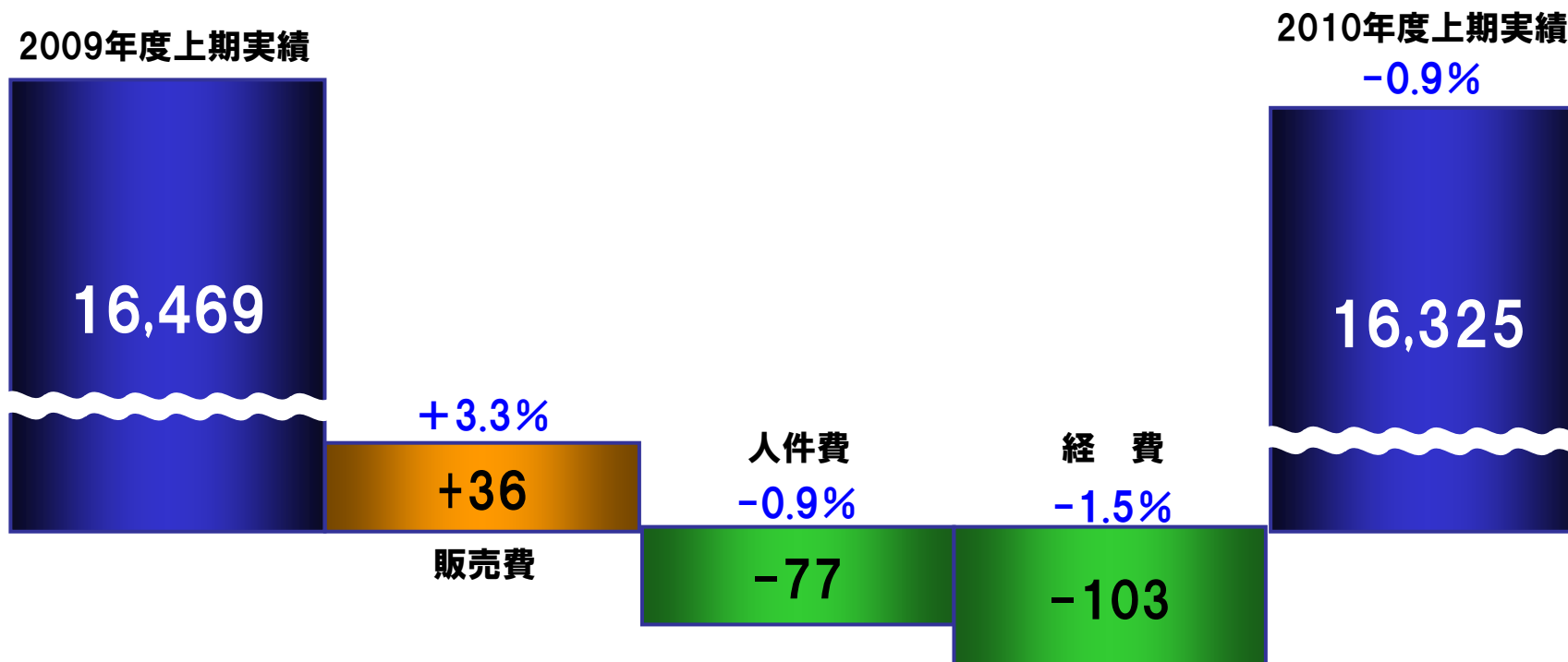
2010年度上期
1,383百万円



急激な円高の影響により一部の商談で見送りがあった

販売費および一般管理費

(単位：百万円)



販売費：売上増に伴う運送費用等の増加

人件費：退職給付費用の減少

経費：支払手数料等において上期計上予定の一部が下期計上となった

US\$が1円変動した場合

約30百万円の影響

EURが1円変動した場合

約15百万円の影響

社内レート

通貨	2010.03 (2009年度)	2011.03 (2010年度)
US\$	100	95
EUR	130	130

中期経営計画の体系	8
製品展開	9
不整脈疾患のリスク評価	10
自社開発PTCAカテーテル	11
病院市場へ新製品投入	12
2010年度グッドデザイン賞を受賞	13
診療所「かかりつけ医」機能強化を支援	14
COPD（慢性閉塞性肺疾患）を診る	15
心臓突然死リスクの早期発見	16
AEDをより身近な場所に！	17



現状の課題と今後の事業方針

事業課題

ドメイン別事業展開の推進

病院

検査～治療～経過観察まで一貫した医療環境を提供

診療所

開業医の「かかりつけ医」機能強化を支援

市場環境の変化に対応した事業展開を推進する

2009年度

2010年度

病院

検査～治療～経過観察まで一貫した医療環境を提供

検査

FM-190

SCM-8000

治療

サイクロン

サイクロンHP

経過観察

DS-7000

DS-7700

DS-8500

診療所

開業医の「かかりつけ医」機能強化を支援

検査

FCP-8221

LC-661

LT-130

治療

FH-30

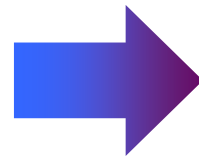
疾病管理

FHM-02

初期診断から治療後の疾病管理までトータルサポート

ホルター
心電図検査
24時間

イベント
検査
6日間



長時間記録波形を
素早く正確に解析

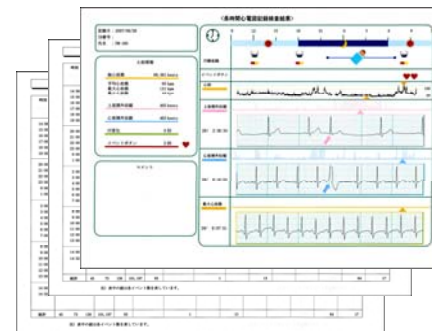
防水型



デジタルホルター記録器
FM-190

診断 研究 患者向け

レポートも充実



ホルター心電図解析装置
SCM-8000

手元の感覚を的確にTargetへ

高度狭窄病変に通過性重視
サイクロン

石灰化病変等に高耐圧型
サイクロン ハイプレッシャー



特許
出願中

金属製コイルのピッチを段階的に狭めることで
優れた剛性変化を実現

医療現場で求められる機能をより強化

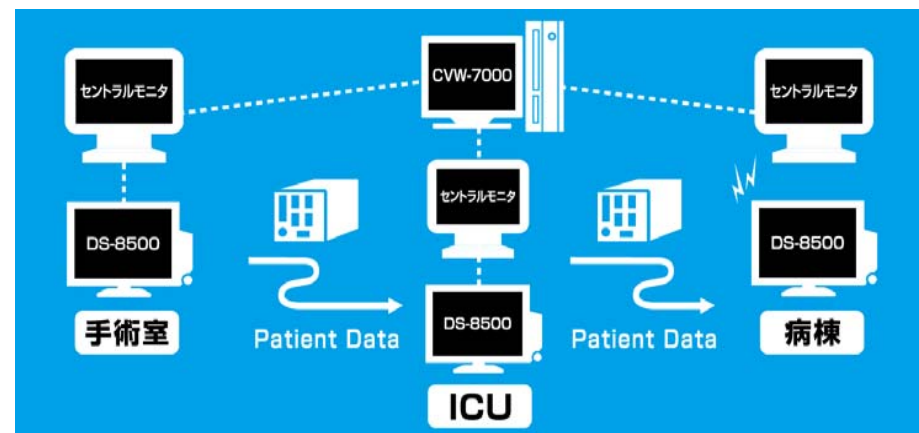
高精度不整脈解析機能で
診断精度向上

最大16床まで

担当を色で識別

Dual Display対応

手術室からICU CCU 病棟まで
切れ目のないモニタリング



セントラルモニタ
DS-7700



ベッドサイドモニタ
DS-8500



生体情報モニタ DS-8500 system



生体情報モニタ（ベッドサイドモニタ）DS-8500は、使いやすさにこだわり、より使う人の立場にたった操作感を目指し開発されました。特にGUI（グラフィカルユーザーインターフェース）に対する取組みが高く評価され、日本デザイン産業振興会から表彰されました。

感染や炎症をその場で測定 ラインナップもより充実

患者の症状を即時に診断



血液の状態
を診る
CBC

炎症反応
を診る
CRP

自動血球計数CRP測定装置
LC-667

NEW



自動CRP測定装置
LT-130



自動血球計数装置
LC-661

スピード診断で診療の迅速化をサポート

潜在患者530万人の検査から在宅療養までをサポート

検査



電子式スパイロメーター
SP-350COPD



パルスオキシメーター
エニィパル

治療



酸素濃縮装置
FH-30



在宅用人工呼吸器
VS SERENA

疾病管理



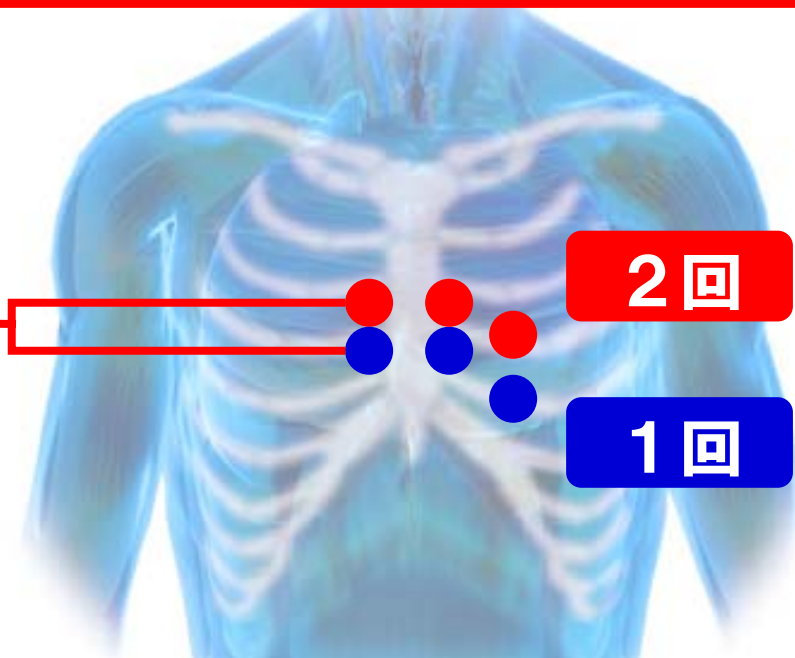
フクダホームケア
マネジメントシステム
FHM-02

年間5万人にもおよぶ心臓突然死の指標となる
Brugada型心電図波形をより簡単にキャッチ

日常検査
検診に



2回の検査が1回で予測可能に

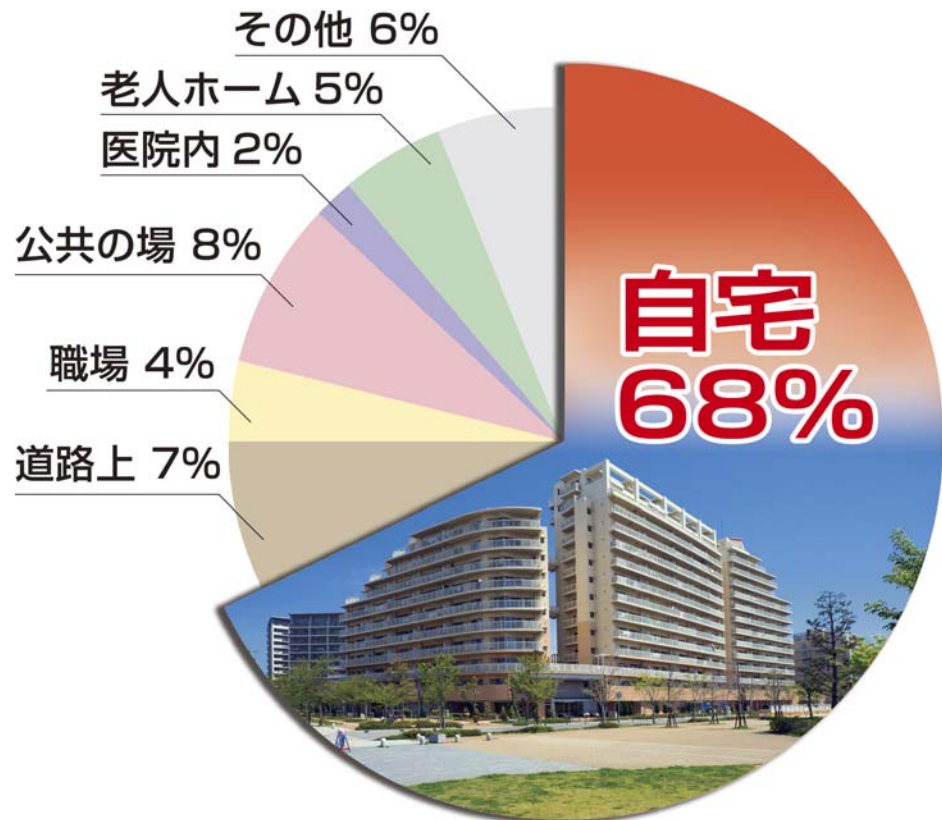


多機能心電計（解析機能付）
FCP-7541

より簡単な検査で高度な診断を提供

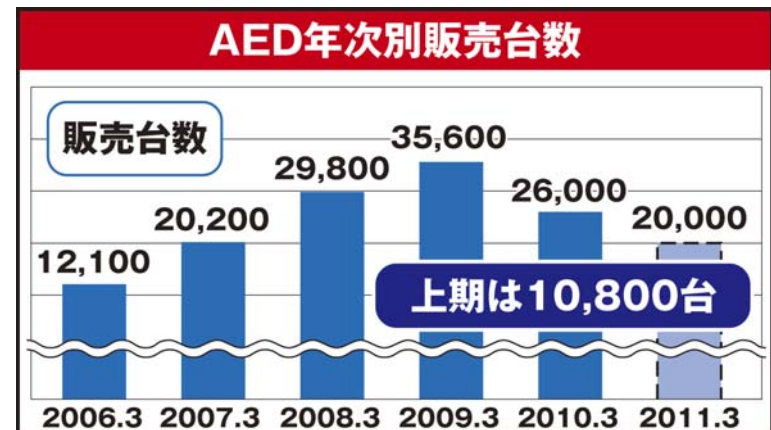
AEDをより身近な場所に！

マンションなどの集合住宅へもAEDを備える時代が到来



出典元：救急医療ジャーナル No.7020042225

心臓突然死の発生場所



2010年度業績予想

単位：百万円	2011.03 当初予想	2011.03 修正予想	増減額	増減率
売上高	89,500	88,000	-1,500	-1.7%
（内、海外売上高）	(3,300)	(3,100)	(-200)	(-6.1%)
営業利益	7,000	7,500	+500	7.1%
経常利益	7,000	7,500	+500	7.1%
四半期純利益	3,500	3,750	+250	7.1%
為替レート：ドル	95円	95円		
ユーロ	130円	130円		

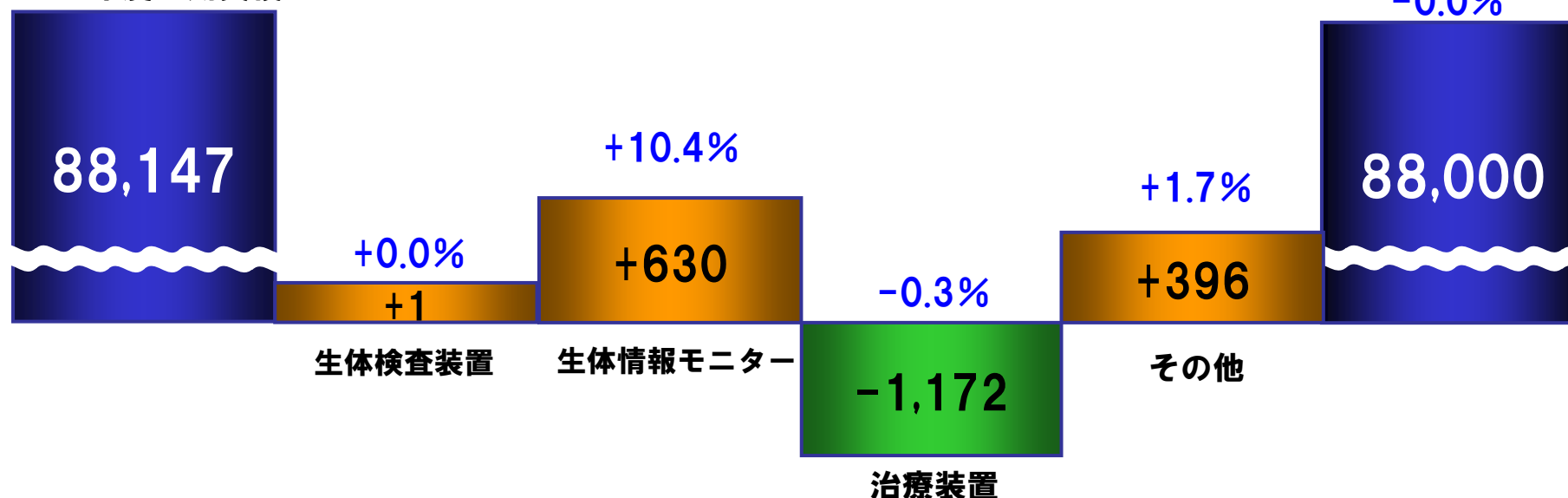
上期は新製品投入効果があり、自社製品を中心に堅調に推移した
 下期はAED、血管内超音波画像診断装置及び為替の不透明感による海外事業
 の減少を織り込み、通期予想を修正

2010年度売上高増減要因

2009年度通期実績

2010年度通期予想

-0.0%



単位：百万円	2010年度上期実績	2010年度下期予想	2010年度通期予想
生体検査装置	11,454	11,446	22,900
生体情報モニター	2,939	3,761	6,700
治療装置	17,400	17,400	34,800
消耗品等(その他)	11,562	12,038	23,600
売上高合計	43,356	44,644	88,000

※今年度より『消耗品等(その他)』部門に含めて集計しておりました器械装置に使用する付属品に関して部門別による集計が可能となりましたが、2010年度の実績・予想数値につきましては、従来の集計方法に補正し、セグメント別比較を行っております。



**「ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する」を経営理念とし、
検査から治療・経過観察まで3本柱の事業で成長し、
「医療機器専門メーカー」としての企業価値向上への進化を続けてまいります。**

[お断り]

この資料に記載されております業績予想数値は、当社および当社グループの事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を及ぼす要因について、現時点で入手可能な情報に基づいての見通しであり将来に亘る部分については、皆様の投資のご参考に資するために、ご提供をさせて頂くものです。

同数値については市況、競争状況、新製品および商品の投入状況など多くの不確実な要因の影響を受け予想と異なる結果になることが有るため、保証をお約束するものではありません。

以上のことを、ご認識頂き、ご活用をお願い致します。

この資料に関するお問合せは、下記にお願いいたします。

経営企画部：福田・久野

TEL: 03-5684-1558 FAX: 03-5684-1577 email: info@fukuda.co.jp



〒113-8483 東京都文京区本郷三丁目39番4号